地域紹介の通信（２）

地域のお勧めポイントを、通信形式で紹介してみます。今回は、横浜市旭区の昆虫観察の案内です。（１）の復習・練習問題として、通信や新聞形式の文書で必須の手法を、練習しておきましょう。

「地域紹介の通信（１）」と同様の手順です。

１．準備

①完成図（最終ページ）をイメージして、テーマカラー、使用するフォント・写真素材を決めます。作品例では、本文には「HGP 教科書体」、見出しには「HGP 創英角ゴシック UB」を使用します。テーマカラーは、オレンジと青にしました。

②写真素材を、ネットで探してダウンロードしておきます。作品例では、「写真 AC」サイトから、右の写真を用意しました。

③オリジナル図鑑の画像は、「県立四季の森公園」サイトからキャプチャします。サイトは、検索して探してください。トップページ右下「生きものごよみ」に、図鑑の画像があります。

２．文書作成

「地域紹介の通信（１）」テキストを、参照してください。

タイトルや見出しの背後に配置した四角形は、今回はパターンで塗りつぶしてあります。

３．地図の作成

添付「Word228 地図.docx」ファイルを参考に、地図を作ってみましょう。

完成したら、印刷プレビューをキャプチャし、通信の中に画像として貼り付けます。

旭区ウォーカー Asahiku Walker 7月号

ファーブルになろう！四季の森公園で昆虫観察

夏といえば、昆虫観察。子どもだけでなくおとなも、身近な昆虫を観察し、触れ合うチャンス。県立四季の森公園には、広大な敷地に、多様な生き物が暮らしています。感性を研ぎ澄ませ、ふだん見逃してしまっている「生き物の気配」を、追いかけてみましょう。

虫を追い求めるうちに、ホンモノのおもしろさ・美しさに気づくはず。心の奥に眠っている「ファーブル」が、きっと目を覚ますよ。

チョウのなかま

アオスジアゲハなどアゲハチョウの仲間は、派手なのでよく見かけると思います。

しかし、よく目を凝らすと、テングチョウやキタテハなどタテハチョウの仲間、ベニシジミなどシジミチョウの仲間も、原っぱに飛び交っています。

また、森の中に足を踏み入れると、スズメガやホタルガなど、ガの仲間も目につきます。

甲虫のなかま

カナブンやコガネムシは、森の周辺部で見つけられます。カミキリムシやゾウムシも、比較的多くの種類が生息しています。

くさい臭いを出すので嫌われるカメムシも、たくさんいます。よく観察すると、美しい形をしていますよ。

子どもに人気のカブトムシやコクワガタを、見つけることができるかも。

バッタのなかま

原っぱでは、ショウリョウバッタやイナゴを見かけることができます。子どもでも、わりとつかまえやすい昆虫です。手にとって観察してみるといいでしょう。

森の中のバッタは。鳴き声が頼り、見つけにくいかな。

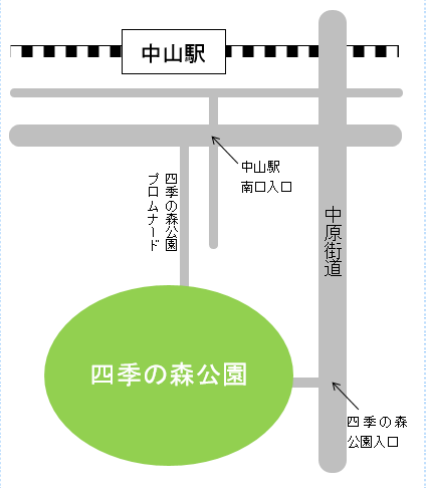
トンボのなかま

シオカラトンボは、噴水にもやってくるので、見つけやすいと思います。マユタテアカネも、ポピュラーです。池の周囲では、オニヤンマが飛んでいることも。日本最大のトンボなので、飛んでいればすぐに気づきます。

水辺では、ほかの種類のトンボも見つけることができます。池の周辺を、探索してみましょう。

オリジナル図鑑

公園管理事務所に、「四季の森公園の生き物たち」（税込300円）を用意しています。

公園へのアクセス

中山駅南口から、徒歩 15 分。「南口入口」交差点を右折しすぐ左折すると、公園へのプロムナードです。
車の場合は、中原街道「公園入口」交差点から、200m で駐車場です。